

平成 30 年度 静岡県原子力防災訓練への参加について

1 趣 旨

静岡県及び関係各市が主催する原子力防災訓練に参加して各種の訓練を行い、原子力災害に係る各種の計画に基づき、災害応急対処の習熟及び関係機関相互の連携体制の強化を図るとともに、計画等の検証を行う。

2 日 時

平成 31 年 2 月 5 日（火）～ 6 日（水）

3 訓練の概要

(1) 原子力災害合同対策協議会等活動訓練（5 日 9 時～16 時）

原子力災害合同対策協議会（オフサイトセンター）、緊急時モニタリングセンター、県原子力災害対策本部等との連携を訓練するため、テレビ会議等に参加する。

(2) 住民避難及び避難退域時検査場所の設置運営訓練（6 日 8 時～12 時）

ア 住民避難に際し、静岡県工業技術研究所に開設される避難退域時検査場所において避難退域時検査を受ける要領を訓練する。

イ 住民 66 名、職員 16 名がバス 2 台、公用車 2 台を用いて参加予定

(3) 放射線防護対策設備稼働訓練

社会福祉施設入所者の屋内退避及び放射線防護陽圧装置の起動を訓練する。

ア 介護老人保健施設はるかぜ（5 日 13 時～14 時 30 分）

イ 養護老人ホーム相寿園（6 日午前中）

(4) 緊急時モニタリング訓練（5 日 8 時 45 分～12 時）

2 チーム（各 3 名）を編成し、電子式線量計を携行して測定地点に移動し、その地点の空間放射線量率を測定して無線で緊急時モニタリングセンターに報告する要領を訓練する。